

## 熊本建設工事道しるべ 九州一圓に渉る工事區域

鐵道省熊本建設事務所長 釘宮 盤

汽笛一聲門司を離れ、小倉より日豊本線にて周防灘に沿ふて南に走ること四時間にして泉都別府に至る。一浴後地獄廻りの後、久大東線北由布驛所在地由布盆地の仙境を経て豊後森驛に下車し、天下の奇勝耶馬溪の探勝も亦可なり。之より自動車に依り新八景日田盆地の水郷日田に至る。更に筑後川の流域に従ひ西下、久大西線筑後吉井に至る、此間久大西線第三、四兩工區あり、此程約十三軒餘、筑後川を横斷すること一回、鐵橋は目下基礎工事中、沿道山嘴に小隧道を穿つこと六箇所、其内主要なるものを關道(延長三二四米)とし、第三工區は古賀朝幸、第四工區は間組の請負に屬せり。

筑後吉井より汽車にて矢部川驛に下車、矢部川、佐賀間の佐賀線あり、目下矢部川柳河間第一工區は工事中にして飛鳥組の請負なり、之より自動車にて佐賀に出て、再び汽車に依り肥前山口驛に下車すれば有明線第一、二工區あり、溝口才太郎請負にて、肥前山口鹿島間は工事中、第一工區肥前山口、龍王間は三日九日營業開始、本線は概して地質不良にて大部分の建造物の基礎は砂工に依り施工し、其の結果研究中なり。

第二工區内鹿島町より輕便鐵道又は自動車にて、武雄驛に出て汽車便により有田驛經由伊萬里線に乗換へ、伊萬里驛下車、同地方は有田燒磁器の名産地なれば、名工、柿衛門の釜跡を尋ぬるも亦一興なり。之より伊佐線(伊萬里、佐世保間鐵道)に入れば伊萬里口第一區なり、同工區は軌道工事竣成して三月二十一日開業せり、第二工區は土工々事竣成し、軌道工事準備中なり。之より海岸を迂迴、佐世保に出で(自動車の便あり、所要時間約四

時間)佐世保より佐世保線を逆行、早岐經由諫早に至れば有明線第九工區(諫早、肥前長田町)あり、森本組の請負なり。

更に私設島原、溫泉兩鐵道に依り、天下の秀峰雲仙に登るも亦一興たるべし。同地より島原港に下り、海上三角に渡り、三角線にて銀杏城下の熊本に至る、此處は建設事務所の所在地にして熊本城、水前寺、本妙寺等の名勝古蹟に富む。之より鹿兒島本線にて西鹿兒島驛に至れば、同地を起點とする、指宿線第一、二工區(山下組の請負にして第一工區は土工竣成し目下軌道工事準備中)あり、工事中なれ共地勢平坦にして特筆すべきものなし。然れとも車窓より眺れば盤上の香爐に似たる秀麗の櫻島、水青く波穩かに、描くが如き錦江灣の風光は一瞬に集る。自動車にて走ること二時間にして終點指宿に達す。此處は薩南第一の指宿溫泉のある處にして湧出量豊富なるのみならず、溫泉場の多くは浪靜なる鹿兒島灣に臨み、大隅半島と相對して風光頗る宜く、夏は海水浴に、冬は又避寒の好適地なり。

鹿兒島より汽車にて肥薩線西國分に至れば西國分、都城に至る國都線あり、目下中間一工區を残し、兩口共一部開業又は工事中にして、大部分西松組の請負なり。此區間には煙草の名産地國分、皇祖發祥の靈地、日向高千穂、又は天孫降臨の靈跡霧島山あり、殊に霧島山の中腹にある溫泉は湧泉の豊富、風光の雄大土地の閑靜を兼ね備へたる鎮夏の別天地なり。

歸途は日豊線に依り門司に向ふを便とす、途中蒲葵樹鬱蒼たる青島の勝を探り、或は官幣大社宮崎神宮に參詣することを得へし。青島は大淀驛より輕鐵に乗換へ約四十分にして達す、此處は景勝地として、熱帶植物自生地として、地質學上好適の資料地として將又史跡傳説地として天下の名勝地なり。又宮崎驛又は花ヶ島驛に下車するを至便とす。